



【先週 10月17日～10月23日の外食の出来事】

■外食、時短継続相次ぐ 客足鈍く第6波を警戒 協力金支給なくなり苦境も

東京都や大阪府が、飲食店への営業時間の短縮要請を25日からやめる方針を決めた。ただ、新型コロナウイルスの感染「第6波」への警戒から足元は客足の回復が鈍く、通常営業への復帰を見送る外食企業が相次いでいる。

■コロナ禍 4.5万の飲食閉店 協力金で支えきれず

新型コロナウイルスの感染拡大以降、全国の飲食店の閉店が4万5000店に上ることが日本経済新聞とNTTタウンページの共同調査で分かった。自治体の時短協力金では十分に支えきれないことが浮き彫りになった。

■串カツ田中、赤字4億円 12～8月最終

2020年12月～21年8月期の連結決算は、最終損益が4億4300万円の赤字(前年同期は3100万円の赤字)だった。緊急事態宣言に伴う営業時間や酒類提供への制限により休業する店舗が増えたのが響いた。

■すかいらーく、2000店舗に配膳ロボ 感染対策強化

すかいらーくは2022年末までに約2000店舗で配膳ロボットを導入する。店員の作業負担を減らし、新型コロナウイルスの感染予防策も狙う。行動制限が緩和されるなか、人手不足や非接触に対応したサービスが広がりそうだ。

■吉野家ホールディングス、上半期(2021年3月～8月)の連結業績

2022年2月期 第2四半期の連結業績は売上高742億7900万円(対前年同期比9.4%減)、営業利益7億2300万円(-)、経常利益49億1900万円(-)、四半期純利益31億2700万円(-)と減収も増益を確保した。

■サイゼリヤ、2021年8月期(2020年9月～2021年8月)の連結業績

2021年8月期 通期の連結業績を発表。売上高1265億1300万円(対前年同期比0.3%減)、営業損失22億6400万円(-)、経常利益34億5500万円(-)、親会社株主に帰属する当期純利益17億6500万円(-)であった。

■HUB、上半期(2021年3月～8月)の業績

2022年2月期 第2四半期(2021年3月～8月)の業績を発表。売上高4億5800万円(対前年同期比74.7%減)、営業損失6億4100万円(-)、経常損失6億5200万円(-)、四半期純利益5200万円(-)であった。

■リンガーハット、上半期(2021年3月～8月)の連結業績

2022年2月期 第2四半期の連結業績は売上高162億2700万円(対前年同期比0.5%増)、営業損失9億5900万円(-)、経常利益6億6600万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億1800万円(-)であった。

■忘・新年会離れが深刻、企業の7割が「開催しない」 東京商工リサーチ

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全面解除された後の10月1日～11日、全国の企業を対象に忘・新年会の開催意向のアンケート調査を実施した。それによると企業の7割が開催予定がないと回答した。